



西洋中世文化事典

西洋中世学会 編

A5判・736頁 定価26,400円(本体24,000円+税10%) ISBN978-4-621-31019-9

最新情報・詳細は
こちらから
丸善出版ホームページへ



西洋中世に光を当てた全16章296項目

5～15世紀頃のヨーロッパ世界を指す“西洋中世”。「暗黒時代」と称されることも多いが、幅広い研究分野で語られ、創作物でも受容されるなど、後世にも影響を与え続けている時代である。本事典は、歴史、商業、衣食住、信仰、文学、美術、建築、哲学、ジェンダー研究、さらには後世での受容までも含め西洋中世の文化を解説し、学際的な構成とした。また、対象範囲も西欧に限らず北欧、中・東欧、イスラーム圏にまで広げ、周辺海域やアフロ・ユーラシア世界も視野に収める地域横断的な内容を目指した。

関連書籍



啓蒙思想の百科事典

日本18世紀学会 啓蒙思想の百科事典編集委員会 編
A5判・714頁
定価22,000円(本体20,000円+税10%)
ISBN978-4-621-30785-4

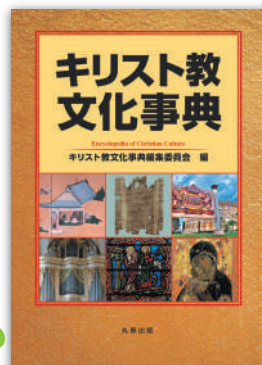
ヨーロッパ史における18世紀は「啓蒙の時代」と呼ばれ、理性による「知」の地殻変動が起こった時代であるとされている。本書ではこの知と科学の行きかう時代を探る。



ドイツ文化事典

石田勇治 編集代表／佐藤公紀・柳原伸洋 編集幹事／宮崎麻子・木村洋平 編集委員／公益財団法人 日独協会 協力
A5判・744頁
定価22,000円(本体20,000円+税10%)
ISBN978-4-621-30564-5

ビールなどの食文化、サッカーなどのスポーツ文化、女性運動や環境運動などの政治文化、芸術や歴史上の人物など、多様なドイツ文化を紹介しその奥深さをわかりやすく解説。



キリスト教文化事典

キリスト教文化事典編集委員会 編
A5判・790頁
定価24,200円(本体22,000円+税10%)
ISBN 978-4-621-30715-1

キリスト教の教義や歴史だけでなく、文学、美術、音楽、さらにキリスト教の現代的な変化も視野に入れたキリスト教の文化的事象を包括的に収録した事典。



ユダヤ文化事典

日本ユダヤ学会 編／市川裕 編集代表
A5判・748頁
定価26,200円(本体24,000円+税10%)
ISBN978-4-621-30981-0

ユダヤ教という宗教によつてのみ一つの民として独自の存在を保持・生き抜いてきたユダヤ人の文化に焦点をあてた事典。全16章304項目、執筆者156名による書下ろし。

丸善出版株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル 営業部 TEL(03)3512-3256
FAX(048)852-5591(受注センター) <https://www.maruzen-publishing.co.jp>

注文書	2024年11月刊行	ご注文はお近くの書店まで
	西洋中世文化事典 定価26,400円(本体24,000円+税10%)	
	ISBN978-4-621-31019-9	
	冊	
	冊	
	お名前	
	ご住所 〒	
	TEL	

※ご注文をいただいた個人情報は、書店、取次(流通)・弊社間で商品手配の目的に利用させていただきます。

取扱店

tkp.24.A01

西洋中世文化事典

西洋中世学会 編

A5判・736頁 定価26,400円(本体24,000円+税10%)
ISBN978-4-621-31019-9

編集顧問

松田隆美 慶應義塾大学名誉教授

編集委員長

小澤実 立教大学文学部教授

編集幹事(五十音順)

池上	上井	俊澄	一子	東京大学名誉教授
今草	井生	澄久	嗣博	大阪大谷大学文学部教授
辻山	内辺	久宣	博子	大阪公立大学大学院文学研究科教授
		規		早稲田大学商学部准教授
				奈良女子大学名誉教授

編集委員(五十音順)

青伊	谷藤	秀喜	紀彦	明治大学文学部教授
大大	黒貫	俊俊	二夫	東京都立大学都市環境学部准教授
加河	沼藤	由	布玄	大阪市立大学名誉教授
城木	原戸		温子	東京都立大学人文社会学部准教授
久小	俣田	照元	一江	同志社大学文学部教授
岡田	林師	直宣	子忠	日本女子大学文学部教授
藤横	口崎	宣正	樹衛	放送大学教養学部教授
	山崎	安由	美文	大分大学経済学部教授
	川			名古屋大学名誉教授
				静岡大学名誉教授
				東京大学大学院総合文化研究科教授
				甲南大学文学部教授
				東京大学大学院法学政治学研究科教授
				東京大学大学院総合文化研究科教授
				立教大学文学部教授
				東京学芸大学芸術・スポーツ科学系准教授

丸善出版

◆電子書籍のお求めはこちらから



※電子販売、および販売ストア等は変更になる場合がございます。

刊行にあたって

(一部抜粋)

ヨーロッパ半島の歴史は動いている。黒海北岸や中東での破壊と虐殺、気候変動による酷暑の中でのパリ五輪、(中略)半島のあちこちが刻一刻とその姿を変えつつある。本事典は、そのように絶えず揺れ動くヨーロッパ半島の時間軸をさかのぼり、根源ともいえる「中世」の文化とは何かを問う試みである。

時代区分としての「中世」は、きわめて作為的な用語である。ルネサンス期のイタリアで、賞賛し規範とすべき「古代」でもなく、しかし自分たちが生きる「近代」でもない、そのはざまの時代が発見された。それが「中間の時代(mediumaevum)」,つまり中世である。(中略)

19世紀後半以来、長らく「暗黒時代」とされてきたこの中世を積極的に評価する動きが芽吹いた。行政文書、年代記、文学作品、宗教テキスト、音楽資料などさまざまな文字史料が手稿本から校訂され、建築物の遺構や日用品が発掘され、絵画、彫刻、教会聖具などが美術館に並び、ロマン主義以来の流れを汲んだ中世評価の批評や作品もまた生み出された。中世は国家や民族の起源であると理解されたため、どの国も中世の研究には注力した。研究分野の基礎を打ち込んだ文献学者のJ. ベディエ、J. R. R. トールキン、美術史のA. リーグルやE. マール、哲学思想のM. グラープマン、E. ジルソン、そして歴史学のCh. H. ハスキنز、H. ピレンヌ、そしてM. ブロックらの肩に乗り、戦後はアナール学派や社会史の隆盛を経験したわれわれにとって、ヨーロッパ半島の1,000年間を切り出した「中世」は、今や積極的な価値を見出す時代区分となった。

西洋中世に光を当てる本事典の全16章は、1項目2400字という枠の中で、法制史や哲学思想から芸術論やジェンダー論に至るまで文化という観点で執筆されている。さらに先達(中略)を踏まえううえで、21世紀の事典として次の視点も組み込んだ。

第一に分野横断である。本事典の編集・執筆は、歴史学、文学、文献学、美術史学、哲学、音楽学など、中世に関わるあらゆる学問分野の専門家が参加している。2名以上の専門家が協力して各章の編集と項目選択を行い、各項目は専門事例を活かしかつ普遍性のある内容を提供する。第二に西欧の越境である。本事典の射程は西欧だけでなく北欧・東欧を含めたラテン・カトリック圏、さらにはビザンツ帝国に及んでいる。それに加えて現在のウクライナやロシア、アルメニアといった正教圏、十字軍国家の建設された中東、アイスランドやグリーンランドが連なる北大西洋島嶼もまた対象である。第三に論点のグローバル化である。(中略)ヨーロッパ半島全体に影響を与える気候変動や水系ネットワークのような環境条件、遊牧民族が往来するユーラシアのステップ地帯、奢侈品をもたらす東方や想像上のインドも、視野に収めている。第四に文化接触と文化創造への注目である。アブラハム宗教を共有するムスリムやユダヤ人、基層文化であるケルト・ゲルマン・スラヴ、戦闘や交渉を繰り返す遊牧民や先住民、交易で出会うアジアやアフリカの諸民族は、移動する集団を通じて、常に新しい息吹を西洋にもたらした。そして第五に受容の重視である。近代に引き継がれた「中世」は『指輪物語』や『ハリー・ポッター』シリーズのみならず、日本の漫画やアニメなどのポップカルチャーの中で新しい姿を纏う。本事典は、先人の豊かな遺産を引き継ぎ、中世研究の現在を反映する鏡でもある。(中略)

本事典は読む事典である。目次や索引を見て、気になる項目から読めばよい。(中略)学術水準を維持しつつ平易な表現を心がけた本事典は、すべての人に開かれている。そうした風通しの良さもまた、誰もが集う場としての西洋中世の魅力である。そんな事典を実現させたすべての関係者に感謝を。

編集委員長 小澤 実

目次

第1章 環境と自然

天体観測／気候変動／自然災害／自然の驚異／自然の利用と改変／動物相／植物相／海／地中海／山と川／アルプス／森／湖・池・沼／瘴気／鉱山と鉱物資源／環境汚染／【コラム】ジャン・ド・ブリー

第2章 国家と支配

国家と教会／宮廷(統治組織)／王冠／王の印璽／王の二つの身体／皇帝／教皇／諸侯(大貴族)／封建関係／法記録と立法／法律家／紛争解決／領主と農民／身分制議会／ビザンツ帝国／オスマン帝国／ロシア／【コラム】フェデリコ2世

第3章 ことばと文字

声と叫び／誓約／文字／リテラシー／書板・書蝋板と読み書き教本／ラテン語と俗語／黙読と分かち書き／古書体学／文書形式学／偽書／偽文書／写本制作／写生字／活版印刷と木版本／韻文と散文／修辞学／寓意擬人像／【コラム】ネブリハ

第4章 戦争と騒擾

フェーデ(私戦)／城と城塞／都市の防衛と包囲戦／都市における騒擾と暴動／戦争と財政／軍事技術書／捕虜と身代金／和平・条約・同盟／遠征と略奪／ニカの乱／ノルマン征服／十字軍／騎士道と武具／シチリアの晩禱／百年戦争／農民反乱／コンスタンティノープル陥落／フス派戦争／傭兵制度／【コラム】ジャンヌ・ダルフ

第5章 都市と産業

都市イメージ／都市共同体／都市制度／市民／都市空間(市壁と広場)／都市と周辺農村世界／公証・司法・文書管理／触れ役と伝令／時と祝祭／学校／施療院／病院／宿屋と居酒屋／同職組合(ギルド)／食品・飲料生産業／鍛冶屋(金属加工業)／農事論／【コラム】アンブロージョ・ロレンツェッティ

第6章 交易ともの

市／通商路／海と川の交易／商業の組織／貨幣／流通税／金貸し／商人のモラル／数とそろばん／商業実務／時計／奴隷／馬と牛／毛織物／ワインとビール／中世ものづくり／【コラム】フランチェスコ・ダティーニ

第7章 移動と交流

説教／東方植民運動／居留地／移牧／結婚(興入れ)／通信／書簡・郵便制度／先住民としてのケルト／ヴァイキング／ユダヤ人／ロマ／ユーラシアの草原地帯から／旅行ガイド／ヨーロッパのイスラーム／東地中海世界の人の移動／【コラム】マルコ・ポーロ

第8章 身体と衣食住

身体と水／健康の追求／髪／身体の知／衣服の変遷／色彩／衣服の素材／紋様／子ども服／食のリズム／宴会／料理人と料理書／台所と食器／食と身分／食材／町家と農家／庭園と菜園／火と陽／【コラム】フィリップ善良公

第9章 信仰と想像

聖人崇敬／托鉢修道会／異端／千年王国説／神秘主義／シスマ(教会分裂)／公会議／巡礼／プロセッション(宗教行列)／兄弟会／天使と

悪魔／煉獄／エルサレム／インド／オリエント／シャルルマーニュ伝説／出自神話／国家有機体説／【コラム】ビンゲンのヒルデガルト

第10章 ジェンダーと人生サイクル

ー神教(アブラハム宗教)と暦／ギリシア・ローマ・ビザンツのジェンダー観／宦官文化／聖書とジェンダー観／女性蔑視と女性崇拜／聖女と魔女／皇女・王妃・王女／修道女・隠修女・ベギン／医学とジェンダー／教会と秘跡／愛と結婚／出産と死／女性と子どもの教育／遊び／【コラム】クリスティーヌ・ド・ピザン

第11章 書物と文芸

書物のかたち／作者とパトロン／古典古代の受容／慰めと対話／書簡文学／キリスト教教化文学／聖人伝／聖史劇／武勲詩／抒情詩／笑話と風刺／アーサー王物語群／トリスタン物語群／愛と友情の表現／助言の文学／旅の文学／杵物語／アレゴリーの系譜と『薔薇物語』／夢幻詩／中世ギリシア文学／サガと北方文化圏／東スラヴの言語文化／【コラム】ダンテ

第12章 美術と表象

ユーラシア的展望／アーティストとパトロネージ／コレクション／女性と美術／オリジナルとコピー／イコノクラスム／イメージ・像・身体／イメージと言葉／可視性と不可視性／ヴィジョン／五感と環境／奉納／装飾と文様／テキスタイル／キリストの表象／怪物と異形／自然と世界認識／記憶／知の視覚化／死と美術／【コラム】シュジェール

第13章 建築と場所

古代の遺産／中世建築のかたち／建築形式の伝達／イスラーム建築とキリスト教建築／中世建築からルネサンス建築へ／材料／スポリア／ヴォールトとドーム／塔／司教座都市と大聖堂／修道院／新都市建設／広場／宮廷とホール／城砦建築／典礼と教会建築／建築とナラティヴ／建築と彫刻・モザイク／【コラム】ペーター・パルラー

第14章 思想と科学

自由学芸／リベラル・アーツ／大学での教育／聖書／修道院神学／12世紀ルネサンスと翻訳／1277年の断罪／中世論理学のオリジナリティ／神の存在証明と現代論理学／アナログア／創造論と世界の永遠性／自然法／徳と倫理／形而上学という学問／アリストテレス自然学と近代科学／錬金術／中世のコスモロジー／中世のヒューマニズム／東方神学とラテン世界／【コラム】トマス・アフィナス

第15章 音楽と儀礼

教皇儀礼／成聖式／戴冠式／入市式／騎士叙任式と臣従礼／外交儀礼／指輪／定式書／ダンス／聖歌／教会とオルガン／典礼劇／オルガヌム／モテット／アルス・ノヴァからルネサンス音楽へ／記譜法／中世歌人／ジョンブルール／ミンストレル／巡礼と音楽／【コラム】ギヨーム・ド・マショール

第16章 中世受容と中世研究:西欧と日本

中世暗黒説の諸相／中世主義／文学の中の中世／西洋中世と日本のサブカルチャー／ゲームの中の中世／政治思想と中世／文化遺産と中世／ツーリズムと中世／近代日本の西洋中世史研究／中世社会史研究の鉱脈／世界史教育と西洋中世／図書館・文書館・博物館／展覧会とカタログの中の中世／亡命知識人／ビザンツ学／イスラーム学／ユダヤ学／比較史／アナール学派と中世像の革新／自然科学と中世考古学／中世とグローバルヒストリー／史料集成とデジタル・ヒューマニティーズ／【コラム】ジャック・ル・ゴフ

付録地図／引用・参考文献／事項／人名／地名索引